

授業科目名	契約実務 Legal Practice for Contracts
授業科目群	展開・先端科目
標準学年	2・3年次
必修・選択の区別	選択
開講学期	後期
開講曜日・時限	金曜日・5時限
単位数	2単位
担当教員名	松井 仁 (Matsui Hitoshi)
授業の目的	民法、商法(商行為法)の知識を前提として、現代社会で頻繁に使用されている契約類型についての実務的な知識及び契約書作成の技法を習得することを目的とする。
履修条件	特になし。
到達目標	カリキュラムマップ、到達目標科目対応表及び学修ロードマップを参照のこと。
授業の概要	<p>契約書作成のために必要な一般的知識および技法(約束ごと)を確認したうえで、現代社会でよく見られる典型契約および非典型契約を類型ごとに学習する。また、国際取引における契約実務や、裁判上の和解についても取り上げる。</p> <p>This course provides basic knowledge and skills for drafting contracts.</p>
授業計画	<p>第1回 現代社会における契約理論の発展</p> <p>第2回 契約書理解・作成のための基礎理論</p> <p>第3回 契約書の作成技法 ～ことばと形式～</p> <p>第4回 継続的商品取引契約の各類型</p> <p>第5回～6回 ファイナンスに関する契約の各類型</p> <p>第7回 インターネットと契約類型</p> <p>第8回～9回 継続的役務提供契約の各類型</p> <p>第10回 知的財産権に関する契約の各類型</p> <p>第11～12回 共同事業に関する契約の各類型</p> <p>第13回 国際取引と英文契約書</p> <p>第14回 裁判上の和解条項</p> <p>第15回 契約書即日起案練習</p>
授業の進め方	講義形式で、質疑応答しながら進めるが、ときに事前に配布した契約書の条項について発表を求めたり、実際に契約書を起案させることもある。
教科書及び参考図書等	その都度紹介する。
試験・成績評価等	学期末試験50%、期間中レポート30%、授業への参加度(出席及び発言)20%
事前学習	特に求めない
課題レポート等	与えられた相談事例にしたがった契約書の起案を予定している。
オフィスアワー	特に指定しない。必要に応じてメール等でアポイントをとること

その他	
-----	--